

石灯籠が照らす ホタルロード



石灯籠作りに熱中する親子

六月はホタルの季節。六月一日、恒例のホタル観察会が金森町内のホタルロードで開催された。地区外からの参加も含めて七十一人がホタルが飛びかう夜景を満喫した。途中に親子で作った石灯籠が並べられ、灯がともされると幻想的な光景が浮かび上がった。

国富石材さんとコラボ

空き家（垂水邸）の音楽会で美味しいコーヒーをふるまってくれるのはホライズンコーヒーの平田里美さんご夫婦。実は石材屋さんでもある。昨年、「田舎の小さな音楽会」を開催した折、石材屋さんのまわりにおいてある廃材（のように見える）を使って何かできないか、という話で盛り上がった。

「灯籠を作ることならできる。ホタルロードに並べたら幻想的な光景をつくりだすことができるのではないか。」という平田さんの提案を「未来こい！ネット」教育委員会が受け止めた。

6月12日に開催された灯籠作りには子どもと保護者28人が参加して、世界に1つしかない石灯籠を作りあげた。

（多久和祥司）

講師を務めたのは島根町の山田和彦さん（元松江南高校長）。川のまわりにはいるのはゲンジボタル、田んぼの上を飛びかっているのはヘイケボタル、山の中で光っているのはヒメボタル。幼虫のときに食べているのは貝類。成虫になったら何を食べている？何も食べないんだよ。命は三〜一〇日ぐらいい。

感動！の夜景

昨夜、ほたるロードを家族で見学にいきました。

たんぼのまわりをホタルが本当にたくさん！ホタルの群れに囲まれて、飛ぶホタルに素手で触れて、手の中で光るホタルに見入る。なにもかもはじめてでした。かつてないホタル体験…プリーズ！！伊野の魅力をもっと知りました。

野宗輝邦（東地区在住）

